

## 令和2年度東京農業大学校友会北海道支部定期総会（挨拶部分）

### 早坂支部長：

支部長を仰せつかっております早坂です。今年初めてお会いする方は大勢おられますので、改めてご挨拶をさせていただきたいと思っております。ちょっと遅きに失しますが、明けましておめでとうございます。皆様には年明けの月末、大変お忙しい中、全道各地よりお集りをいただきまして心より感謝申し上げます。また、特に来賓として校友会本部より、昨年会長になられました萬歳会長には新潟より、わざわざ新潟から東京でお仕事をされて、わざわざ北海道支部にご来道いただきまして、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。また、オホーツクより生産学部の学部長であります吉田学部長、そして藤枝事務局長にもお忙しい中ご出席を賜り、心より感謝申し上げます。先ほど冒頭で黙祷いただきましたけれども、校友会でご活躍をいただいた大先輩が多数お亡くなりになり、心より感謝を込めてご冥福をお祈り申し上げます。

私ども、本校も明治24年開学以来127年の歴史をもち、さらにはオホーツクも32年目と、大変歴史のある大学、そういう大学になりました。私どももこの歴史の重みを後世に引き継ぐ重大な役割を校友会も担っていると改めて認識して、校友会活動を継続してまいりたいと、そんなふうに思っております。

昨年を振り返りますと、元号が令和に代わり新しい天皇陛下が即位され、時代の大きな節目を迎える1年となりました。北海道においても外国人の観光客が300万人を超えると、さらに道内の7空港が民営化になる、そんな時代の中で、昨年の暮れには北海道札幌に東京オリンピック・マラソン、そして競歩の競技が開催されるなど、北海道の大空に大きな夢を描く、そんな話題も飛び込んでまいりました。

しかし年を明けて、ここ近年ですけれども、箱根駅伝を楽しみにしておりましたけれども、今年もテレビでその姿を見ることはできなく大変残念な思いをしておりますが、今日も実はワンコイン募金、皆さんにご協力いただいておりますけれども、昨年一昨年と皆さんの浄財を300万・300万と、強化のために校友会としてお贈りをして、近い将来には必ずやその結果が現れるのではないかと期待をするところであります。

昨年春にはオホーツクの硬式野球部が全国準決勝まで行ったと大きな話題になりましたけれども、実は皆さんも、もうご存じの方もおられるかもしれませんが、大相撲今年の初場所、豊山と正代が大変頑張って活躍をしておりますけれども、先ほど聞いたところでもありますけれども、残念ながら今日負けまして2敗と、まだ優勝のチャンスはあるやに思いますので、明日に期待をしたいなと思っておりますけれども、そういう農大の卒業生が活躍している姿を見ると心が沸き立つというか、元気になるといふか、そういう気持ちになれるのも校友ならではの、大学を卒業した母校の想いといふか、そういうのが自分の中にも沸々と沸き立つ想いがあるんだと、そんな

ことをつくづく実感する次第であります。ぜひいろいろな場面で校友が活躍する場面を皆さんと共有できればありがたいなど、そんな思いであります。

実は話は変わりますけれども、昨年 12 月 7 日に全国の教職員部会連絡協議会総会がありました。皆さんにもご案内差し上げておりますけれども、支部長推薦という制度が昨年からなくなりまして、AO 推薦ということで制度が変わりましたけれども、教職員部会と連携しながら、ぜひ北海道からも生徒を輩出して、ぜひ北海道にまた戻って来ていただいて北海道で活躍できる、そんな想いで教職員部会とも連動しながら多くの生徒を本学オホーツクに送ってまいりたいなど、そんな思いであります。

また、今日 1 テーブル、女性のテーブルをつくらせていただいたんですけれども、実は私ども以外の他の支部でも最近女性部会というのが各支部で少しずつ増えてきてございます。本学大学に行っても、私の時代と打って変わって、どこの学科に行っても女生徒が大変多くなってきております。また、その方々がまた社会に出て活躍する時代になってきているのではないかなと、そういう意味では、ぜひ校友会にも女性の方にご参加いただいてご活躍、また新しいネットワークづくりができれば良いなど、そんなことも北海道支部としても考えていきたいなど、そんな先駆けで今日女性の方々に 1 テーブル集まっていたいただきました。また連絡とりながら女性の方に多く参加いただける機会をつくりたいと、よろしく申し上げます。

また、今回改めて西野副部長にお願いをして、名簿の整理をさせていただきました。過去 5 年間出席された方、さらには各学科で会を持っておられる方、さらには年代別でご参加いただける方と、全員にご案内するには人数が多いものですから、少しく今まで以上に広げた範囲で、できる範囲で今回ご案内を差し上げました。一遍にご参加いただけるようにはならないかもしれませんが、毎年新しい方にご案内できるようなかたちで積み重ねていきたいと、それによって多くの皆さんにこの総会があると、またぜひ来ていただきたいというご案内も差し上げればと、そんな想いで今回改めて名簿の整理をしてご案内を差し上げました。また、北海道は 8 つの分会を持っておりますけれども、分会とも改めて連絡調整しながら、私ども改めて作った名簿と分会の名簿と付け合わせしながら、分会の活動も含めて支部としてもご協力できるところは協力していきたいなど、そんな思いであります。

それと、改めて北海道支部のホームページを立ち上げました。若い方も増えつつありますので、ネットのつながりというか新しい連絡ツールというか、分会の方たちにもご利用いただいて、このホームページは本部の校友会とも連動してございますので、大学のホームページにも連動しておりますので、ぜひ大学全学の校友、そういう方ともホームページを通じて少しく想いをつなげられるツールとしてご利用いただければありがたいなど、そんなふうに思っております。

最後になりますけれども、鶴丸前支部長が掲げた、「母校を愛する心と友情こそが校友の原点」と、そういう考えに立ち、さらに長幼の序、先輩を尊敬し後輩を思いやる心、これを通して北海道校友会、皆さんのご協力のもとに、益々発展していけるように努めてまいりたいと思っておりますので、ぜひ皆さんのご協力を改めてお願い申し上げまして私のお話とさせていただきますけ

れども、新しい年号のもと、皆様にとりまして輝かしい1年となりますことをご祈念申し上げて私の拙い挨拶に代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。